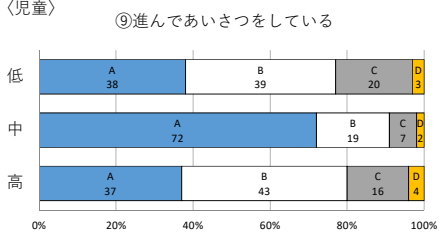
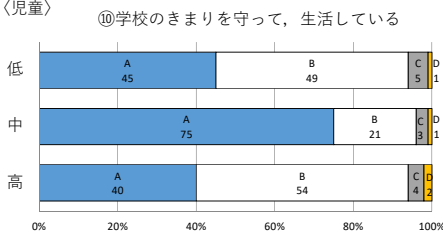


【あいさつをする】

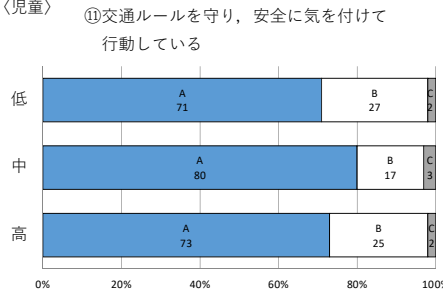


【規則を守る】



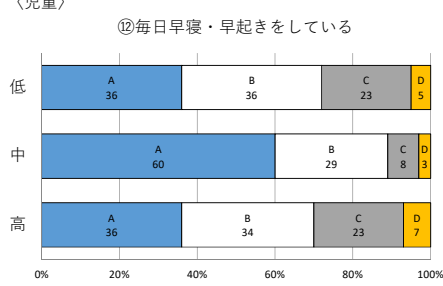
3 健やかな体

【安全に気を付ける】

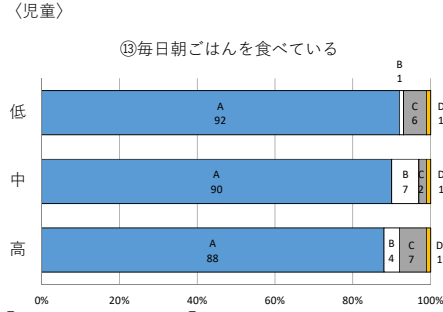


「安全に気を付ける」では、AB回答の児童の割合が100%近い結果となっています。多くの家庭で安全について話題にいただき、学校でも安全に配慮した教育活動を心がけていることで、家庭と学校が連携した児童への働きかけができていることが伺えます。また、子ども見守り隊の方々も、児童の登下校の様子を毎日見守ってくださっています。しかし、児童の様子を見ていると、特に下校時に車が頻繁に通る道を走っていたり、友だちと遊びながら帰っていたりと、危険な場面をよく見かけます。11月に1・2年生対象の交通安全教室を実施し登下校時の安全について実践を交えた学習を行いました。今後も引き続き、見守り隊の方々とも連携しながら、児童の様子を見守り、必要に応じて注意を促していきます。それをお便り

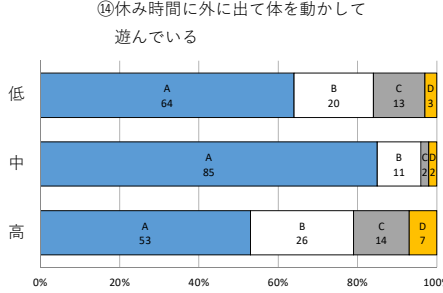
【早寝・早起き】



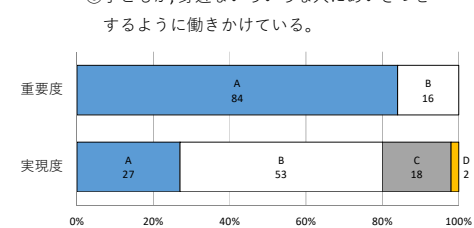
【朝ごはん】



【体を動かして遊ぶ】



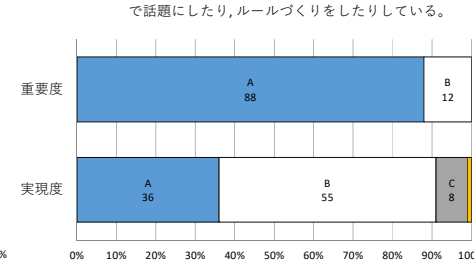
〈保護者〉



「あいさつをする」の児童の回答については、前期と比べると低・高学年でAB回答が減少(低学年18ポイント減、高学年5ポイント減)し、中学年においては増加(12ポイント増)しています。保護者も教職員もあいさつの重要性は感じているものの、実現度についてはA回答は30％未満と低迷しています。教職員や保護者をはじめとする身近な大人が、相手意識をもったあいさつをしていくことも必要だと考えます。相手意識をもってあいさつをすることが大事だということを児童が確実に理解し、TPOに応じたあいさつができるように取組を進めていきます。

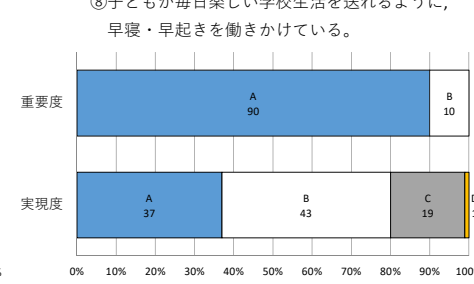
「規則を守る」については、どの学年でもAB回答の割合が多くを占めています。規則を守ることは、友達を大切にし、自他の安全を守ることにつながるという人権の視点についても児童が理解できるようにするとともに、その重要性を自覚し、自ら行動できるような取組を今後も継続していきます。

〈保護者〉

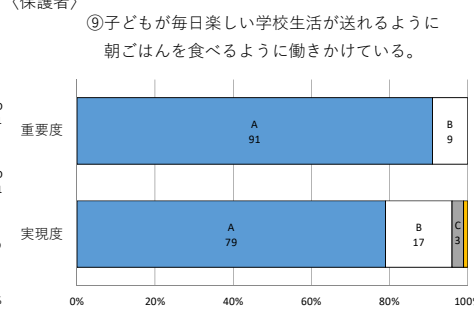


「安全に気を付ける」では、AB回答の児童の割合が100%近い結果となっています。多くの家庭で安全について話題にいただき、学校でも安全に配慮した教育活動を心がけていることで、家庭と学校が連携した児童への働きかけができていることが伺えます。また、子ども見守り隊の方々も、児童の登下校の様子を毎日見守ってくださっています。しかし、児童の様子を見ていると、特に下校時に車が頻繁に通る道を走っていたり、友だちと遊びながら帰っていたりと、危険な場面をよく見かけます。11月に1・2年生対象の交通安全教室を実施し登下校時の安全について実践を交えた学習を行いました。今後も引き続き、見守り隊の方々とも連携しながら、児童の様子を見守り、必要に応じて注意を促していきます。それをお便り

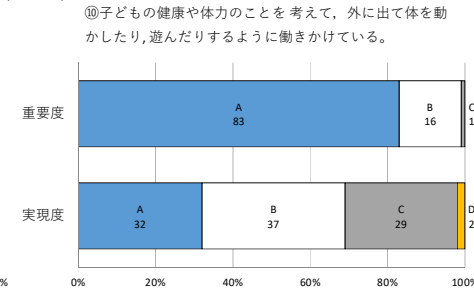
〈保護者〉



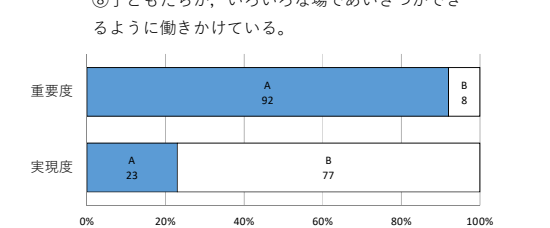
〈保護者〉



〈保護者〉



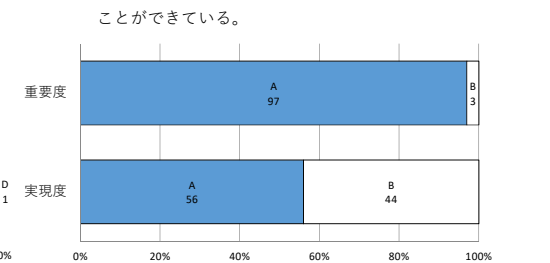
〈教職員〉



「あいさつをする」の児童の回答については、前期と比べると低・高学年でAB回答が減少(低学年18ポイント減、高学年5ポイント減)し、中学年においては増加(12ポイント増)しています。保護者も教職員もあいさつの重要性は感じているものの、実現度についてはA回答は30％未満と低迷しています。教職員や保護者をはじめとする身近な大人が、相手意識をもったあいさつをしていくことも必要だと考えます。相手意識をもってあいさつをすることが大事だということを児童が確実に理解し、TPOに応じたあいさつができるように取組を進めていきます。

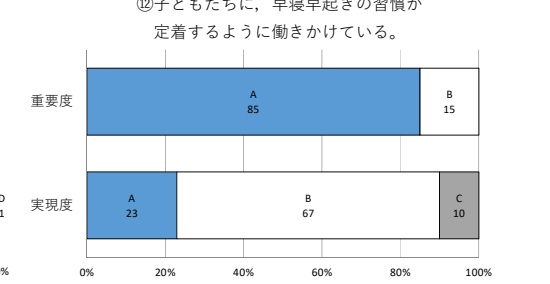
「規則を守る」については、どの学年でもAB回答の割合が多くを占めています。規則を守ることは、友達を大切にし、自他の安全を守ることにつながるという人権の視点についても児童が理解できるようにするとともに、その重要性を自覚し、自ら行動できるような取組を今後も継続していきます。

〈教職員〉

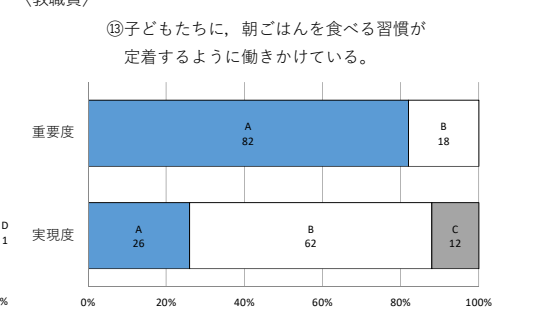


「安全に気を付ける」では、AB回答の児童の割合が100%近い結果となっています。多くの家庭で安全について話題にいただき、学校でも安全に配慮した教育活動を心がけていることで、家庭と学校が連携した児童への働きかけができていることが伺えます。また、子ども見守り隊の方々も、児童の登下校の様子を毎日見守ってくださっています。しかし、児童の様子を見ていると、特に下校時に車が頻繁に通る道を走っていたり、友だちと遊びながら帰っていたりと、危険な場面をよく見かけます。11月に1・2年生対象の交通安全教室を実施し登下校時の安全について実践を交えた学習を行いました。今後も引き続き、見守り隊の方々とも連携しながら、児童の様子を見守り、必要に応じて注意を促していきます。それをお便り

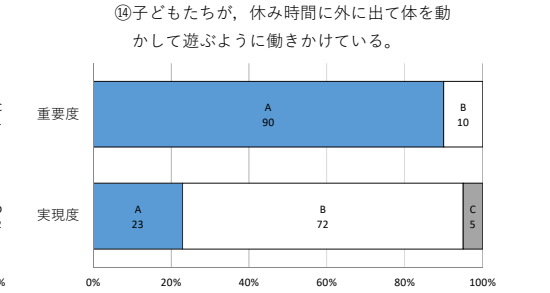
〈教職員〉



〈教職員〉



〈教職員〉

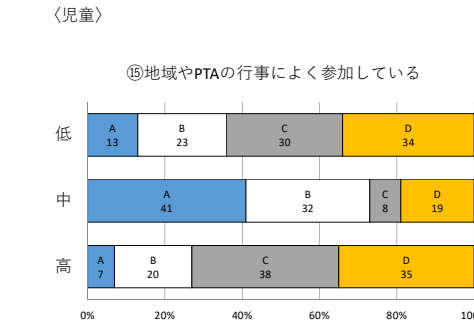


「早寝・早起き」については課題が見られます。どの学年においても、宿題や習い事、メディア(TV、ゲーム、タブレット)などに時間を費やすことが多くなっているため、就寝が遅くなり、起床も遅くなることがあるようです。また、「朝ごはん」についてCD回答の児童も、少なからずいることが分かります。早起きができていないため、朝食をしっかりと摂ることができていないのだと思われます。小学生の子どもたちにとって睡眠と栄養をしっかりとることが、よりよい心身の成長につながります。ご家庭でも生活習慣を今一度見直していただき、「早寝・早起き・朝ごはん」の定着を働きかけていただけたらと思います。教職員の働きかけにも改善の余地があります。今後も、各学級での指導に加え、保健だより等で睡眠時間の確保の大切さや時間の使い方(TVを観る時間、物事の優先順位など)、体育科の保健学習や養護教諭による保健指導、栄養教諭による食の学習とも関連させながら、規則正しい生活習慣の確立、健康への意識を高めていきます。

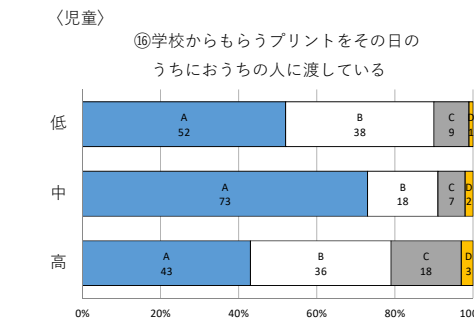
「休み時間に外に出て体を動かして遊んでいる」については、コロナ禍の影響により運動場で遊べる時間や内容に制約があるため、外で体を動かして遊ぶことができないと感じる児童が多くなっているようですが、前期と比べると少しAB回答が増加しました。外で思い切り体を動かして遊ぶことは、子どもたちにとってストレス発散にもなり、よりよい心身の成長にもつながります。今後も、感染予防をしながら、体を動かして遊ぶことが増えるよう働きかけを続けていきます。更に、様々な遊びに挑戦する「ジャンプアップ週間」も活用しながら、児童の体力向上をめざした取組を進めていきます。加えて、体を動かして遊ぶことが成長に及ぼすよさも伝えていきます。

4 その他

【地域・P T A行事への参加】



【学校・家庭・地域の連携】



「地域・PTA行事への参加」については前期同様、様々な地域・PTA行事が中止となっているため、児童の実現度は全体的に低くなっています。保護者の結果からは、参加することは重要と考えてはいるが、コロナ禍の影響があったり、時間的な余裕がなかったりすることで参加できていないという実態もうかがえます。年に数回でも参加できる機会があれば、地域のたくさんの人々とつながることができます。災害等、何かが起こった時お互いに助け合える絆づくりを普段からしておくことも大切だと考えます。そういった視点からも、今後、行事が再開されましたら、学校ホームページや学校だよりを通して広報に努め、参加を呼びかけていきます。

「学校からもらうプリントをその日のうちにおうちの人に渡している」では、高学年のCD回答が増加しています。このことから、学年が上がるにつれてルーズになっていることが伺えます。学校からのおたよりなどが配布された日に、確実にご家庭に届くように、普段から持ち物を整理整頓する習慣付けを今後も行っていきます。また、学校ホームページについては、タイムリーに更新して情報発信に努め、家庭や地域の学校教育活動への理解を得るとともに、家庭や地域と連携した取組を更に進められるようにと考えています。

◆学校評価アンケート ― 振り返りを通してより良い教育活動へ ―

京都市教育委員会生涯学習部より発行されている「コミュニティ・スクール通信 @ 京都」にも掲載されているように、子どもたちの学校生活をよりよいものにするためには、学校・家庭・地域が互いに高め合う双方向の信頼関係を構築することが何よりも大切です。そして、三者が「子どもたちのために、自分はどういうことができるだろうか。」という意識をもって、それぞれが教育活動に参画し、子どもを育むための取組を進めていくことが大切です。

子どもたちへの教育は、学校だけで行うものではありません。「PLAN」(教育計画)⇒「DO」(教育活動)⇒「CHECK」(点検【評価】)⇒ACTION(修正・改善)のサイクルの中で、教職員は、「教職員アンケート」を通して自己の取組について振り返っております。同様に、保護者の方にもアンケートを通して「自分はできているだろうか。」と振り返って考えていただき、今後のより良い教育活動に生かしていただく機会として、「保護者アンケート」を実施しております。ご理解いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。